

コースコード : HP-HU0D2S

税込価格 : 297,000円 (税抜価格 : 270,000円)

日数 : 3日間

## トレーニング内容

ミッションクリティカルなデータセンターの日常業務を実行するための要件を扱います。  
日常業務を実行し、どのプロセスを導入する必要があるかを理解し、それらのプロセスの重要な要素とその実行方法を理解するために必要なすべての能力を習得できます。  
データセンター ファシリティ オペレーション スペシャリスト認定試験に合格すると、CDFOS®: Certified Data Center Facilities Operations Specialist資格が取得できます。

トレーニング概要は、予告なく変更されることがあります。

## ここに注目!!

データセンターファシリティを運用管理するためのベストプラクティスを習得します  
ベンダーに依存しない、世界で通用する認定コースと試験のセットです  
日本では、HPEでのみ受講および受験が可能です  
データセンター認定資格について、詳しくは以下をご覧ください。  
[データセンター認定資格 \(HPE社資料\)](#)

### 【CDFOS資格とは】

CDFOSは全世界で有効な、データセンターのファシリティを運用管理する高度な専門知識を有することを証明するベンダーに依存しない世界資格です。  
日本においては日本ヒューレット・パッカード合同会社の研修でのみ取得可能です。  
有効期限は、3年です。期限切れの期日は、認定証の下の方に記載されます。  
なお、有効期間内にCDFOS再試験を受験して合格することで資格を更新できます。更新すると、有効期間は3年間延長されます。  
以下の場合は、再度トレーニングを受講していただく必要があります。  
・受講後1年内に合格していない場合  
・試験に3回連続で不合格になった場合

### 【認定証のPDF提供】

認定試験合格後に発行される認定証はPDFでのご提供となります。  
認定証は試験機関のWebサイトよりダウンロードできます。

## ワンポイントアドバイス

データセンターファシリティを運用管理するためのベストプラクティスを習得します  
ベンダーに依存しない、世界で通用する認定コースと試験のセットです  
日本では、HPEでのみ受講および受験が可能です  
データセンター認定資格について、詳しくはこちら(  
<https://www.hpe.com/jp/ja/training/course/data-center-qualification-training.html>)

)をご覧ください。

## 受講対象者

このコースの受講対象者は次の通りです。

- ・IT、施設、またはデータセンターの運用内外で働いており、ロックアウト/タグアウトなどの重要なプロセス、インストール/削除の適切なプロセスを含む日常の運用を理解し、改善する必要がある方
- ・機器の設置、安全手順、キャパシティ管理などに携わる方

## 前提条件

このコースを受講する前に受講者が習得しておく必要がある知識およびスキルは次のとおりです。

データセンター運用の経験があることが望ましいですが、必須ではありません。  
このトレーニングに参加する前に、CDCPの資格を取得しておくことを強く推奨します。  
CDCPは必須ではありません。

## 目的

このコースを修了すると次のことができるようになります。

- ・サービスレベル管理の実装とサポート
- ・安全面の実装
- ・物理的なデータセンター施設のセキュリティの維持
- ・データセンターの設備と機器のメンテナンスの調整と監督
- ・データセンターサービスのサービスマネジメントの実践
- ・フロア、キャパシティ、設備のライフサイクル管理を活用したデータセンター運用
- ・データセンターの可用性、キャパシティ、パフォーマンスの監督とレポート
- ・基本的なデータセンタープロジェクトの管理と実装
- ・ドキュメントのライフサイクルの管理およびサポート
- ・データセンターの全体的な効率を改善し、運用のコスト削減に貢献

## アウトライン

サービスレベル管理

サービスレベル管理

分析が必要

能力評価

サービスポートフォリオとカタログ

サービスレベルアグリーメント

報告 苦情手続き

顧客満足

サービス改善プロセス (SIP)

### 安全と危機管理

最も一般的な事故の種類とその理由

任命された安全スタッフの役割と責任

OH&SまたはWHSマニュアルの重要性

測定および試験装置の校正

適切なロックアウト/タグアウト手順

さまざまな潜在的な緊急事態に対する緊急対応計画の要件

就労許可の重要性

### 物理的セキュリティ

セキュリティのための標準業務手順書 (SOP)

セキュリティリスク評価

セキュリティゾーン

現物検査警備パトロール

納品お預かり場所

個人の入場規制

バッジとキー管理

セキュリティ監視

セキュリティインシデントの報告

### 施設のメンテナンス

メンテナンスの重要性

保守定義

保守作業手順書 (MOP)

サービスレポート

スペア管理

ツール

ハウスキーピング

データセンターの運用

シフト引継ぎ

巡回業務

サービス管理

リリース管理

構成管理

フロア管理

設備ライフサイクル管理

監視報告管理

監視要件

設備監視マトリックス

センサー/アラームポイントのテストとキャリブレーション

通知マトリックス

エスカレーション要件

報告

プロジェクト管理

プロジェクト管理

プロジェクト組織

プロジェクトマネージャ

開始

計画

実行

監視と制御

閉鎖

評価教訓

環境の持続可能性

持続可能性の重要性

環境基準

電力効率指標

省エネのベスト プラクティス

水管理

持続可能なエネルギー利用

ガバナンスとコンプライアンス

ドキュメント管理の重要性

ドキュメント管理の6つのサブプロセス

資産運用管理

要件または資産の記録

トレーニング内容は、予告なく変更されることがございます。